





## 阿蘇山の噴火活動・マグマ水蒸気爆発を理解する

於 [熊本大学教育学部](#) (本館3-A講義室)

2017年2月27日 (月)

時間	発表者	発表タイトル	
10:00~10:15	<a href="#">大倉敬宏</a> 京大阿蘇	研究会概要説明 7.7M 	宇津木
10:15~10:35	安部祐希 温泉地学研究所	レシーバ関数を用いて推定した阿蘇カルデラの地殻内低速度領域の分布 3M 	
10:35~10:55	畑 真紀 産総研	3次元電気比抵抗モデルによる阿蘇カルデラの地殻構造とマグマ溜まり 4.7M 	
時間	発表者	発表タイトル	
11:10~11:30	黄 有志 京大阿蘇	The velocity structures obtained from ambient seismic noise study in the Aso caldera 3.5M 	
11:30~11:50	<a href="#">鍵山恒臣</a> 京大阿蘇	阿蘇火山からの揮発性成分の散逸量 3.7M 	
時間	発表者	発表タイトル	
13:20~13:40	<a href="#">大倉敬宏</a> 京大阿蘇	阿蘇における地殻変動観測と活動推移について 4.9M 	横尾
13:40~14:00	松末伸一 気象庁	ここ数年間の阿蘇山の活動と噴火警戒レベルについて 3.3M 	
時間	発表者	発表タイトル	
14:10~14:30	市村美沙 京大理	阿蘇火山における連続微動の発生位置とその時間変化から推定される噴火準備過程 5.2M 	
14:30~14:50	<a href="#">風間卓仁</a> 京大理	相対重力観測による広帯域火山活動モニタリング：阿蘇山および桜島における事例 2.3M 	
時間	発表者	発表タイトル	
15:05~15:25	南 拓人 東大地震研	ACTIVE観測から見えてくる2014年11月阿蘇山マグマ噴火に伴う比抵抗構造の変化 5.2M 	大倉
15:25~15:45	宇津木 充 京大阿蘇	地磁気観測結果から推測される2014年噴火に伴う地下温度状態の変化について 2.7M 	
15:45~16:05	山本 希 東北大予知観セ	広帯域地震観測からみた阿蘇山浅部熱水系とその時間変化 4.8M 	

2017年2月28日 (火)

時間	発表者	発表タイトル	
09:30~09:40	<a href="#">長谷中利昭</a> 熊大院自然科学	2014年11月以降の阿蘇中岳噴出物の化学組成変化 3.5M 	宮縁
09:40~09:50	川口允孝 熊大院自然科学	阿蘇における高硫黄玄武岩マグマの供給 -斑晶メルト包有物の化学組成- 11.1M 	
09:50~10:10	大槻静香 産総研	2014-2015年に噴出した阿蘇火山灰の微細組織の特徴と時間変化 22.6M 	
時間	発表者	発表タイトル	
10:20~10:40	並木敦子 広大総合科学	2014年に噴出したと思われるスコリアの泡組織 7.1M 	

10:40～11:00	石井杏佳 京大理	2015年4月ストロンボリ式噴火における地震・空振シグナル 2.5M 	鍵山
<b>時間</b>	<b>発表者</b>	<b>発表タイトル</b>	
11:10～11:30	常松佳恵 富士山科学研	画像解析から得られる火山岩塊放出のダイナミクス 2.3M 	
11:30～11:50	横屋亮彦 京大阿蘇	阿蘇山2014～2015年噴火の空振活動 5.4M 	
<b>時間</b>	<b>発表者</b>	<b>発表タイトル</b>	
13:20～13:40	山田大志 北大理	噴火に伴う空気振動の長周期成分の解析 ー阿蘇山の例ー 2.3M 	
13:40～13:55	谷 協至 京大理	2016年10月噴火に先行する長周期パルス (LPP) について 1.7M 	
13:55～14:15	宮縁育夫 熊大教育	阿蘇火山中岳における2016年10月7日～8日噴火とその噴出物 2.7M 	横尾
<b>時間</b>	<b>発表者</b>	<b>発表タイトル</b>	
14:30～14:50	長井雅史 防災科研	阿蘇山2014-2016年噴火粗粒火砕物の岩石学的特徴 3.2M 	
14:50～15:10	篠原宏志 産総研	火山ガス組成観測と阿蘇の活動推移 12.1M 	
15:10～15:30	風早竜之介 産総研	阿蘇火山における火山ガス放出と火山活動の対比 3.3M 	
<b>時間</b>	<b>発表者</b>	<b>発表タイトル</b>	
15:30～15:40	鍵山恒臣 京大阿蘇	閉会挨拶	